

# 生活科だより

Sence of Wonder (センス オブ ワンダー)

No.4 2022. 6. 1

高知市立高須小学校  
理科だより編集部

## みず ～水をやるということ～

朝、学校に来ると昇降口のあたりでペットボトルを持った1年生とすれ違います。ついていくと北庭に並べられた青い鉢の中でアサガオのふたばが出ています。自分の鉢に大事そうに水をやっている姿を見ると嬉しくなります。



水をやるということ、この実際に自分で行動し体験していくことがとても大切なことなのです。先日1年生の教室でアサガオの種を観察カードに記録していました。カードにテープで貼りつけた黒い小さな種がまさに魔法のように変化を始めたわけです。教科書や図鑑、インターネットなどで調べると目の前で起こっていることは知ることができます。でも、実際に自分の鉢に種をまき、何日も水をやることで変化を目のあたりにします。始めは先生に言われて水をやっていた子どもも、自分のふたばと出会うことで「自分事」の水やりになっていきます。

子どもたちが「私、全部出てきた。」「4つ出てきて、ここだけ出てない。」「これだけすごい大きい」など、色々話しかけてくれます。聞いていてとても楽しいです。全部出てきたというのは、いくつ植えたのかが分かっている証拠、ここだけ出てこないというのはいくつ植えて、さらにどこに埋めたのかまで気にしているということ、すごく大きいというのはほかのふたばと比べているから言えること。こうした見方ができることが今後の観察の目につながります。

水をやるという行動がなければこの変化を体験することはできません。アサガオの命のスイッチを入れた彼らが、次の命のもと(種)まで責任をもって楽しんで水をやり続けて欲しいと願います。

このアサガオを育てる体験は単に生活科にとどまらず、各教科、日々の生活に活かされていきます。生活科を通してたくさんの体験をすることが本校の学校目標「豊かな心と確かな力でたくましく生きる高須の子」の素地をつくることにつながっています。時々、応援してあげてください。

2年生も水やりをしていました。のぞいてみるとミニトマトがたくさん発芽しています。教室に上がる前に当たり前のよう水やりをする姿が1年間の成長を感じさせます。



玄関前では栽培委員会の当番の子が、

やなぎ学級でもパンジー、いちご、野菜の苗にとあちらこちらで水やりをする子どもの姿が見られます。

1年生の保護者の皆様、本校ではアサガオの栽培に購入した青い鉢を6年間児童の一鉢栽培に使用します。年度終わりに処分することがないように保管をお願いします。

# 理科放送スタート

5月25日(水)、今年も理科放送がスタートしました。理科放送は各学年が担当となり1か月に1回程度、輪番で行います。校内の動植物の様子や、理科、生活科に関する内容を全校に向けて発信しています。第1回は3年生の担当でした。

<校内のようすから>

イチヨウ (北庭)



北庭のシンボルツリーのような存在です。すっかり青葉が増えて大きくなってきました。

アジサイ (家庭科室南)



咲いているもの、つぼみのもの、高須小にはいろいろな種類のアジサイがあるよ。

サツキ (体育館入口)



今、たくさんの花が咲いています。ピンク色のきれいな花をみんな見てね。

<各学年のようすから>

3年生の畑から

オクラ



ひまわり



ハウセンカ



ほかの学年もいろいろな植物を育てています。大豆は実はえだまめと同じなんだよということも紹介してきていました。そして、こんなクイズもありました。



左の写真の中になにかの幼虫がいるのがわかりますか？

よ〜く見てみると・・・



☆アゲハチョウの幼虫がいました☆  
目のように見えるのは模様だそうです。

次の理科放送は何年生でしょうか。楽しみですね。

※学校ホームページ 「お知らせ」の中に理科だよりを掲載しています。カラー版をご覧ください。